

意見交換会実施報告書（公募）

【1班】

| | | | |
|--------------|---------------------------|------|----------|
| 開催団体 | 西方地区コミュニティ協議会 | 参加人員 | 9人 |
| 開催日時 | 平成29年10月25日（水）19:00～21:30 | | |
| 開催場所 | 旧西方小学校体育館 | | |
| 出席議員 （担当） | 議員名 | 出欠 | 担当 |
| | 帯田 裕達 | ○ | 司会進行 |
| | 上野 一誠 | ○ | |
| | 徳永 武次 | ○ | |
| | 松澤 力 | ○ | 記録・報告書作成 |
| | 議員名 | 出欠 | 担当 |
| | 坂口 健太 | ○ | |
| | 永山 伸一 | ○ | |
| | 橋口 芳 | ○ | |

意見交換の内容 （凡例 ◆団体の意見 ◇議員の意見）

1 薩摩川内市の活性化事業の取組について

《意見交換の概要》

- ・ まず、現在の西方地区コミュニティ協議会の取組を話され、現在の課題と今後の進め方について意見を出し合った。

【西方地区コミュニティ協議会の取組事業】

- ・ 高齢者介護予防コーディネート事業（場所：旧西方小）
 - (1) 活動内容：サロン活動（ちぎり絵、カラオケ、介護予防学習会、卓球等）
 - (2) 平成29年度実績（9月末現在）
 教室：12回（延べ172人） 体育館：25回（延べ259人）

【交換された意見】

◆行政からコミ協に対して業務委託をしている高齢者介護予防コーディネート事業については、市の予算の関係で委託事業の額を減額したい旨の話があった。西方コミ協は当該事業に対して積極的に取り組んでおり、同様に実施している他のコミ協より内容の濃いものになっていると自負している。市は現在事業を実施している全コミ協の委託金額を減額する考え方を示したが、西方コミ協は、事業実施のために専属スタッフを地元から雇用している事実がある。市の予算的に厳しい状況は理解できるが、一律に減額をするのではなく、事業内容を勘案する必要がある。

◇事業活性化の各支援補助金総額の上限を絞り込み過ぎてしまっは、市全体の十分な活性化につながらないため、今後の行政支援の在り方をよく検討する必要がある。

◆薩摩川内市の産業活性化に向けては、市外からの誘致企業への行政支援とともに、本市の地元企業に対しても、更に行政の支援の強化を検討する必要があるのではないかと。

◆今回の意見交換会のように、今後も地域の現状を市議会議員が把握する機会を活用して、現場の実態に合った地元事業の支援を行政に働きかけてほしい。

◇今後も地域の現状把握に努め、本市の地元事業の支援も更に検討していく。

《主な要望等》

- ・ 高齢者介護予防コーディネート事業は、コミ協によって実施している内容に差があることから、取組内容によって差を付ける必要もあると考える。また、当該事業を全コミ協で実施することは難しいため、問題意識を持って先進的に取り組んでいるコミ協に対しては、他のコミ協のモデルとなるように行政も積極的にバックアップをしてほしい。

2 人口減少対策と今後の推移について

《意見交換の概要》

- ・ 西方地区コミュニティの人口の状況が説明され、課題と今後の進め方について意見を出し合った。

【西方地区の人口】

- ・ 現在の西方地区の人口は約390人となっており、10年後は300人を割ることが予想される。本年より地域おこし協力隊2名が配置されたことから、外から見た若者の視点で人口増につながる施策を検討中。

【交換された意見】

◆薩摩川内市が誘致した企業に対しては、従業員の雇用について、本市の市民を優先的に採用するなど、薩摩川内市の雇用増加につながるような取り組みを実施してほしい。

◇テレワークなど新しい働き方についても検討を進め、人口減少対策を検討していく。

◆空き家や古民家等を活用した地域活性化も検討いただきたい。

◇西方地区において、交通面で改善が必要な点はないか。

◆高齢者で免許返納をされた方の世帯で、配偶者が免許を持っていない場合、西方など市街地から遠い地区は移動のバス代が非常に負担増となるため、同世帯で免許を持っていない配偶者に対しても、免許返納時のバス代の割引適用を拡大して本市での暮らしやすさを更に改善してほしい。

《主な要望等》

- ・ 市街地周辺部は少子高齢化や転居などの影響で過疎化が進んでいる。このような地域の人口減少対策について積極的に施策を講じてほしい。

3 閉校された学校の利活用対策について

《意見交換の概要》

- ・ 旧西方小を活用した現在の事業について説明され、課題と今後の進め方について意見を出し合った。

【旧西方小を活用した事業の現状】

- ・ 旧西方小学校の校舎は、数年すれば建設から60年が経過し、耐震化工事を進めなければ校舎の活用ができなくなる。耐震化には多大な費用がかかるため、西方地区コミュニティ協議会だけでは校舎の耐震化は困難な状況にある。旧西方小の教室等は、西方地区コミで取組を行っている高齢者介護予防コーディネート事業で活用している。

【交換された意見】

◆旧西方小学校を活用して高齢者介護予防コーディネート事業を継続していくため、行政や議会で支援を検討いただきたい。

◆薩摩川内市の閉校された学校利活用の補助金の使用用途が、かなり限定されているため、地区コミュニティ協議会で実施を検討している事業で活用しにくくなっている。

◇地区コミュニティ協議会で実施している事業が、今後も長期的に継続していけるかについては、地元の地区コミの中でも、更に検討することも大切である。

◆閉校された学校の利活用対策について、地区コミュニティ協議会や自治会のみで独自の活用・運営を行っている先進事例があれば、各地区コミへ更に情報提供をいただきたい。

《主な要望等》

- ・ 今後、旧西方小学校の校舎を高齢者介護予防コーディネート事業で活用することが難しくなるため、旧西方小学校のグラウンドに本市の閉校跡地利活用の補助金により、高齢者介護予防コーディネート事業を実施していく施設の建設に是非取り組んでほしい。（西方地区コミュニティ協議会より強く要望）

4 市の財政状況と今後の推移について

《意見交換の概要》

- ・ 議員より本市の財政状況・決算状況等を説明し、課題と今後の政策について意見を出し合った。

【交換された意見】

◆本市への誘致企業を更に増加させて財政改善をしていくため、薩摩川内市と九州電力等の連携を強化して、本市の民間企業が使用する電気料金の値下げをする等、新しい企業誘致施策も実施し、本市の財政健全化につなげてほしい。

◆ふるさと納税については、他の自治体の先進事例も参考にして、更に本市の良さを多くの方に知っていただく取組を実施してほしい。

《主な要望等》

- ・ 企業誘致を更に進めていくため、企業側にどのような自治体で事業を行っていきたいかについてのアンケートを実施し、新しい発想も加えた上で、大胆な企業誘致施策を実施して本市の財政改善を実現してほしい。